

1 . 調 査 報 告 概 要 表

〔認知症対応型共同生活介護用〕

作成日 平成 2 1 年 1 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 1 6 0 1 9 0 9
法人名	特定非営利活動法人 吹田市民 N P O
事業所名	グループホーム「あい」
所在地	吹田市南高浜町 2 2 - 7 (電 話) 0 6 - 4 8 6 0 - 7 7 7 3

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 0 年 1 2 月 2 0 日

【情報提供票より】(平成 2 0 年 1 2 月 5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 5 年 1 0 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	1 3 人	常勤	4 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 9 人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	40,000 / 45,000 円	その他の経費 (月額)	2 2, 0 0 0 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (3 0 0, 0 0 0 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	2 0 0 円	昼食 5 0 0 円
	夕食	5 0 0 円	おやつ 1 0 0 円
	または 1 日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 0 年 1 2 月 5 日現在)

利用者人数	3 名	男性	0 名	女性	3 名
要介護 1	1 名	要介護 2	1 名		
要介護 3	1 名	要介護 4	0 名		
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 8 1 歳	最低 8 1 歳	最高	歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	相川病院、済生会吹田病院、木田デンタルクリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地元吹田市で多面的な活動を展開している N P O 法人が運営するグループホームです。定期的な地域ふれあいサロンやシンポジウムの開催など、地域社会に対する働きかけを積極的に行っています。事業計画を作成し、具体的な目標や収支報告及び予算を職員・家族・関係団体に配布し、開かれた運営が実践されています。「ゆっくり、一緒に楽しく」心地よい居場所をつくりあげる家（ホーム）です」という理念を管理者・職員が共有し、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、その人らしい自由な生活を支えています。ホームの前には神社があり、境内での地域行事への参加や境内で遊ぶ子どもたちの笑い声、季節の移り変わりや自然を感じることでできる周辺環境が自慢のホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4) 職員は外部評価の意義を理解し、前回の外部評価の改善課題については改善できています。預かり金の収支と残高について家族に報告した時に、確認の署名をもらっています。介護計画についての説明の際に、同意の署名ももらっています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4) ホーム長、管理者、職員一同で自己評価に取り組み、周知しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6) 運営推進会議は、自治会会長・地区福祉委員・介護相談員・家族会代表・ボランティア・医師等多くの関係者の出席を得ており、ホームの現状や課題・利用者の生活・ふれあいサロン運営状況など報告し、意見を求めています。出席者への配布資料には利用者の生活状況を写した写真を入れ、利用者の生活やホームの現状が理解しやすいよう工夫しています。また、市から派遣される介護相談員を受け入れ、家族の意向を運営に反映させる努力をしています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8) 家族の面会時には、利用者の生活を伝えています。また毎月、利用者の近況報告の手紙を送っています。年 1 回家族会を開催しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3) ホームの前に神社があり、境内の自治会館が地域行事の拠点となっており、餅つき・ラジオ体操等様々な行事に利用者や職員も参加しています。また、近隣で地域ふれあいサロンを開催し、利用者と地域住民の交流ができ、馴染みの関係が築けています。草の根的な活動の継続により、声をかけてくれる人が多くなってきています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	「“ゆっくり、一緒に楽しく”心地よい居場所 をつくりあげる家（ホーム）です」という理 念を基にホーム内だけではなく、地域住民と の交流の下、社会的な関係を保ちながらその 人らしく暮らせるように支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内のみんなが見える所に掲げて います。月例のミーティングのレジメにも理 念を書き込み、管理者・職員で確認していま す。また、機会あるごとに意見交換を行い、 運営の原点となっています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	ホームの前に神社があり、境内にある自治会 館では地域の餅つきやラジオ体操等の行事が あり、利用者も参加しています。地域ふれあ いサロンを月2～3回開催し、食事会や喫茶 に利用者も参加し地域住民との交流の機会に なっています。継続した活動は今年4年目と なり、声をかけてくれる人が増えました。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は外部評価の意義を理解し、前回外部評価受審時の課題は改善されています。今回の自己評価は、ホーム長・管理者・常勤職員で行い、全職員に周知しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成し、2ヶ月に1回開催しています。会議のメンバーは、自治会長・地区福祉委員・介護相談員・家族会代表・ボランティア・地域の医師等、多くの関係者が参加しています。ホームの運営状況、利用者の生活、ホームの課題、職員の悩み等を報告し意見を求める活発な会議になっています。配布資料の中には、利用者の生活を写真で伝えるなど、参加者の理解を深める工夫をしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険事業者連絡会・市社会福祉協議会の施設連絡会に参加し、情報の収集や意見交換等連携がとれるように取り組んでいます。市の介護相談員を受け入れていますが、介護相談員は訪問の際に、利用者の生活を共にする程馴染みの関係が築かれ、信頼関係が何えま		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。毎月の請求書送付の際には、利用者の生活を伝えるコメントをつけています。また、「あい」通信を発行し家族に送付しています。預かり金の収支と残高報告に関しては、家族に確認の署名を得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年 1 回、家族会を開催しています。また家族の面会時には要望や意向を聞かせてもらうよう努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	採用時研修を丁寧に行い、職員が安心して利用者に支援できるよう取り組んでいます。また 1 ヶ月程度、新人職員の勤務の際は、基本の勤務体制に加えての職員体制となり、利用者への影響を防ぐ配慮をしています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修や現任研修は充実した内容になっています。ミーティングでの意見交換も、職員の気づきの機会になっています。職員も親や身内を利用させたいと思えるホームに誇りを持っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に入会しています。吹田市の介護保険事業者連絡会等にも参加し、交流の機会をもっています。また、他のグループホームとの見学・研修、交流の機会もあります。グループホームでの生活が困難になった利用者の次の生活を支援するために、今後は特別養護老人ホームとの連携も必要と考えています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、本人・家族に見学してもらいホームに馴染んでもらうことを大切にしています。また、家庭訪問やセンター方式を使った情報収集で、より利用者理解に努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護される側と介護する側という立場ではなく、生活を共有する中で、支え合う関係を保ちながら生活を送っています。職員は利用者に毎日なんでもしてあげるのではなく、自分のできるようにさりげなく手助けなどを支援しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で利用者の希望や意向の把握に努め、言葉や表情から読み取ったりしています。毎日『することがない』と行っていた利用者から『今日は何々しましょうか』と発言のかわった方もあり、朝夕落ち葉を掃くのを日課にしている方等、少人数ならではの個別の取り組みが見られます。センター方式の情報シートを使って利用者と家族から思いや希望を把握しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月の会議に職員全員が参加し介護計画を検討しています。センター方式を採用して基本情報や暮らしの情報、私の家族シートを充実させ、利用者の細かな情報も記載しています。介護計画書は家族や、訪問診療の医師、歯科医師にも相談しています。作成された介護計画書は家族等に確認してもらいサインを得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書は6ヶ月毎に見直しを行っています。モニタリングを実施し細かな気づきを記載しています。変化が生じた場合はカンファレンスを開き、介護計画書を変更することもあります。		

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	地域ふれあいサロンでの地域住民との交流は、馴染みの関係ができています。地域の行事への参加、日常的に町にでる暮らしが実践されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	運営推進会議に参加している医師が、訪問診療を実施してくれるようになり、定期的な診療の確保と自室での診療により、利用者は安心して診察を受ける環境ができています。また以前からかかりつけの医師への受診も可能です。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期について、ホームでは何ができるかを検討し、勉強会を実施しました。家族に対しては、重度化した場合の同意書を取り交わし、利用者一人ひとりの状況に合わせて相談するようにしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないよう、言葉かけや対応は明るく丁寧に接しています。管理者は、ミーティングや個人指導により認識の向上に努めています。個人情報の取り扱いについても、職員に書面で周知徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムや思いを尊重した暮らしを支援しています。毎日、近所のお墓参りに行く利用者やラジオ体操に参加する方、玄関まわりの掃除をする方等、家庭的な暮らしに利用者は生き生きとした表情で過ごしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りに参加する方、片づけに参加する方、それぞれの役割を担いながら食事を楽しています。食材が足りない時は、利用者と一緒に買い物に出かけます。職員も利用者と一緒に食事を摂り、会話をしながら楽しく和やかな食事の時間になっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の習慣や好みを把握して、その方にあった入浴の支援を行っています。入浴を好まない利用者についても、職員間で情報交換を行い、利用者が安心して入浴してもらえるように工夫しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の得意なことや思いは、センター方式による情報や日々の気づきの記録で把握しています。ラジオ体操への参加、食事の支度、玄関前の掃除、ベランダの掃除等、利用者が役割をもった暮らしを支援しています。また、100歳を超えた先生に習った習字も展示し、利用者は先生に元気をもらっていました。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ふれあいサロンへの参加、生協への買い物、喫茶店への外出等、外出の機会は頻繁にあります。ホームの玄関前にベンチが置いてあり、利用者は好きなときにベンチに座り、目の前の神社境内で遊ぶ子どもたちの姿を見たり、季節を感じたりすることが日常になっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関のドアに鍵をかけていません。ベルが鳴る仕組みになっており、利用者は職員の見守りにより自由に外出しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、消防・避難訓練を実施しています。緊急時のマニュアルも作成されており、内容は新人職員でもわかるように工夫されています。非常用食料品は最低限の量は確保し、防災セットも購入しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	食事摂取量や水分摂取量は個別に記録をとり 把握しています。栄養バランスについては、 栄養士にアドバイスを受けることもありま す。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にと って不快な音や光がないように配慮し、 生活感や季節感を採り入れて、居心地 よく過ごせるような工夫をしている	ホーム玄関には季節の花が植えられて、ベン チを設置しています。神社の境内も子どもた ちの遊ぶ姿もホームにとけ込んでいました。 生活空間は改装され階段や手すり、お風呂も 安全に配慮しています。テーブルの下にホッ トカーペットを敷き、暖房にも配慮していま す。ダイニングの食卓には果物や花が生けら れて家庭的な雰囲気です。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、本人が居心 地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、遺影や鏡台・テレビ・装飾品など 利用者の使い慣れた馴染みの古いものや生活 用品を持ち込み、安心できる居場所になっ ています。ある利用者の居室にはスケッチブ ックが置いてあり、花の絵などスケッチブック の内容からその方との会話のきっかけにつな げています。利用者一人ひとりの人生を大切 にしている居室です。		